

# 地域鉄道フォーラム 2026

## 地域鉄道の安定輸送



2026年6月13日(土)

13時~15時 12時30分開場

鉄道の安定輸送とは、安全を第一に、日々列車をダイヤどおりに安定してお客様を輸送していくことです。

しかし、地域鉄道においては、運転士や施設保守要員の不足、鉄道技術の継承が課題となっています。その中で、自動運転や無線を使つての列車制御、線路等設備の監視と診断への鉄道新技術が開発されてきています。

鉄道新技術は地域鉄道の課題にどう応えることができるか、その可能性と未来を探ります。

会場:東武博物館ホール 東武スカイツリーライン東向島駅下車1分

参加費:無料 ただし、東武博物館への入館料(大人210円)が必要です

参加申込み:ホームページから (<https://ecotran.or.jp/>)



ホームページ

### プログラム

- ・開会あいさつ (一社)交通環境整備ネットワーク代表理事 原 潔
- ・来賓あいさつ 国土交通省鉄道局鉄道事業課長 高橋泰史氏
- ・基調講演1 「IT技術を活用した鉄道の高安全度化と省力化」  
日本大学生産工学部機械工学科特任教授 網島 均氏
- ・基調講演2 「地域鉄道における自動運転の可能性」  
日本大学生産工学部鉄道工学リサーチセンター (NU-CRR)  
最高顧問 松本 陽氏
- ・トークセッション 「将来にわたる安定輸送のために」  
コーディネーター/日本大学生産工学部教授 網島 均氏  
NU-CRR 最高顧問 松本 陽氏  
津軽鉄道株式会社 顧問 澁谷房子氏  
一般社団法人交通環境整備ネットワーク審議役 河合 篤氏



高橋泰史氏  
鉄道局鉄道事業課長



松本 陽氏  
NU-CRR最高顧問



澁谷房子氏  
津軽鉄道顧問



網島 均氏  
日本大学教授



河合 篤氏  
JNSTE審議役

## プロフィール(敬称略)

来賓あいさつ

### 高橋泰史 Takahashi Yasuhito



国土交通省鉄道局鉄道事業課長  
2000年運輸省入省。  
福岡県交通部交通指導課長、在オーストラリア大使館一等書記官、国土交通省大臣官房総務課企画専門官、観光庁参事官(旅行振興担当)、航空局航空ネットワーク部国際航空課長等を経て、2025年より現職。

基調講演 1 / トークセッション

### 綱島 均 Tsunashima Hitoshi



日本大学生産工学部機械工学科特任教授  
日本大学生産工学部鉄道工学リサーチ・センター(NU-CRR)副センター長  
鉄道車両や軌道の安全性に関する技術研究を専門とし、地域鉄道に適用できる技術の研究・開発を推進。日本機械学会や自動車技術会などで要職を歴任し、日本機械学会フェロー。

基調講演 2 / トークセッション

### 松本 陽 Matsumoto Akira



日本大学生産工学部鉄道工学リサーチセンター(NU-CRR)最高顧問  
運輸省交通安全環境研究所、独立行政法人交通安全環境研究所を経て2007年から2016年まで運輸安全委員会鉄道部会委員・部会長を務める。交通政策審議会等国土交通省関係の各種委員を歴任。日本大学総合科学研究所教授を経て、2019年より現職。

トークセッション

### 澁谷房子 Shibutani Fusako



津軽鉄道株式会社顧問  
津軽鉄道株式会社において総務、経理、企画部門、管理・企画グループを統括する執行役員を経て、2017年より現職。  
津軽鉄道の全てに精通し、澤田長二郎社長とともに津軽鉄道の魅力を広く発信し続ける。

トークセッション

### 河合 篤 Kawai Atsushi



一般社団法人交通環境整備ネットワーク審議役  
1979年運輸省に入省。沖縄開発庁、国際協力事業団、港湾建設局、埼玉県庁、国土交通省鉄道局技術企画課長、国土交通省近畿運輸局次長等を経て鉄道総合技術研究所理事、JR西日本安全研究所長を歴任。2022年より現職。  
著書に『データブック日本の鉄道』(JNSTE・2026)。

一般社団法人交通環境整備ネットワーク(略称JNSTE、愛称ecotran)は、「鉄道はエコ、鉄道でエコ」を合言葉に、鉄道を軸とした地域の交通環境を整備し、環境負荷の小さい交通体系の構築と公共の福祉を向上させることを目的として2009年に創設されました。

交通環境の調査研究を進めると共に地域鉄道事業の活性化のための諸活動を行っております。